

## 2022年度事業実施報告

新型コロナウイルス感染症は徐々に収束しつつありますが、会員の移動距離時間、経済負担を軽減する方法として誰もが参加しやすいツールに Zoom オンラインと対面を両方としたハイブリッド形式で様々な大会や研修会を実施しました。

3年ぶりに対面とオンラインを併行した第63回全道ろうあ者大会は網走市で道内の会員、手話関係者が久しぶりの再会を喜び合いました。

合同研修会、道内加盟協会事務局 長 連絡会議、スポーツリーダー育成研修会・ろう教育フォーラム・労働フォーラム等は、対面とオンラインを併行して実施しました。定時社員総会は3年ぶり対面による開催、連盟理事会は、感染症対策をとった上で全て対面開催しました。

第56回全国ろうあ者体育大会は、31年振り3度目の開催でした。開催地は札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、千歳市の5市。参加者は選手1,004名(北ろう連企画96名含む)、監督コーチ等、スポーツ委員・役員等、実行委員、大会要員等、審判員、補助員、応援者を含め延べ約3,300名が集いました。北海道企画としてパークゴルフ、ソフトバレーボール競技を開催し、全国から好評を頂きました。全道ろうあ者夏季体育大会は休止となりました。

道内の協会、全国の協会の仲間といつでも、どこでも、つながることができるオンラインは、今後も活用していくので、デジタル機器や電話リレーサービス等を使いこなせるよう、取り組んでいきます。

事業面では公的事業に大きな影響はないもの収益事業の売り上げは伸びたものの、支出が多く赤字決算となりました。

法人運営の安定を計るため、北海道に限定した出版・映像(DVD)の自主作成に力を入れていきたいと思えます。

6月13日(月)に、「手話を広める北海道議会議員連盟」主催による映画「咲む」上映会が行われました。道議員からは「耳のきこえない、きこえにくい方への向き合い方だけでなく、その他の障がいを持つ方についても考えさせられ、非常に心に残る作品だった」と好評をいただきました。

「手話言語法」の早期制定に向け、「手話を広める北海道議会議員連盟」と連携して国に求めていくように運動していきたいと思えます。

## 【公益目的事業】

### I 意思疎通支援に関する事業

#### 1. 手話通訳者等の設置・派遣

聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者を設置・派遣した。

##### (1) 手話通訳派遣事業

- ①手話通訳者設置事業（北海道補助事業）
- ②コミュニケーション支援事業(市町村委託事業)
- ③手話通訳者派遣事業(一部北海道委託事業) を行っています。

今年度の派遣状況は1,025件1,445人。コロナ禍で減った2021年度に比較すると例年並みに戻りつつあります。

全体の派遣比率は市町村支援に関する内容が66%を占めています。

派遣分野では、医療が56%近くを占めています。介護支援なども増えています。

派遣を担っている登録通訳者の推移は少しずつ増えているものの地元推薦者（資格なし）も少なからずいます。日中活動できる人も限られているため、設置通訳者が出ることも多い地域があります。

##### (2) 【手話通訳派遣実績】

	2020年	2021年	2022年
派遣件数	796	1,004	1,025
派遣人数	966	1,228	1,445

##### (3) 【地域（振興局）通訳派遣人数】

(単位：人)

振興局名	道派遣	市町村派遣	派遣センター派遣	小計
情報センター	0	0	165	165
石狩	40	2	225	267
渡島	15	4	31	50
桧山	3	47	4	54
後志	6	76	28	110
空知	1	60	30	91
上川	7	82	44	133
留萌	0	18	0	18
宗谷	5	28	0	33

オホーツク	40	105	14	159
胆 振	1	12	30	43
日 高	4	108	9	121
十 勝	16	61	41	118
釧 路	6	43	0	49
根 室	1	31	2	34
合 計	145	677	458	1,445

(4) 2022年度北海道ろうあ連盟北海道手話通訳派遣センター登録手話通訳者：395名

①【性別構成】

男 性	43名	女 性	352名
-----	-----	-----	------

②【地域（振興局）構成】

(単位:名)

石狩	113	後志	25	留萌	5	胆振	35	釧路	23
渡島	28	空知	37	宗谷	8	日高	6	根室	9
檜山	5	上川	51	オホーツク	16	十勝	34		

③【資格構成】

(単位:名)

手話通訳士	88	北ろう連上級	2	北ろう連1級	7
全国統一試験	189	北ろう連中級	3	北ろう連2級	36
全日ろう連認定	2	北ろう連初級	13	団体推薦	55

④【年齢構成】

(単位:名)

20代	20～24	0	3	60代	60～64	87	141
	25～29	3			65～69	54	
30代	30～34	3	13	70代	70～74	30	34
	35～39	10			75～79	4	
40代	40～44	31	72	80代	80～84	3	3
	45～49	41			85～89	0	
50代	50～54	54	129	※平均年齢：57.2歳			
	55～59	75					

2022年度の内訳は上記の通り、平均年齢は今のところ横ばいであり、地域での養成が急務です。登録者へ向けての研修（技術や理論）は各地域年3回行っております。

派遣センター職員は14振興局に1名ずつ設置通訳者として配置されています。来庁者対応や、派遣コーディネートが主ではありますが、3チーム(派遣・養成・統計)に分かれています。

(2022年度 根室・日高振興局は臨時職員が対応)

## 2. 手話通訳業務区分年間一覧

### 【手話通訳業務】

区 分	2020年	2021年	2022年
保健・福祉・医療	281	246	166
教育・保育	28	17	18
労働	51	34	37
人間関係	3	6	9
社会経済・契約・官公庁手続き	92	174	116
スポーツ・文化・教養等	9	1	6
司法・権利等	2	0	1

### 【手話以外の業務】

区 分	2020年	2021年	2022年
コーディネートに関すること	485	643	664
コーディネートに関すること(市町村支援)	1,010	898	844
自らの通訳事務に関すること	454	446	402
相談支援に関すること	243	223	172
相談支援に関すること(市町村支援)	206	193	190
指導育成に関すること	545	452	500
指導育成に関すること(市町村支援)	63	36	39
会議に関すること	69	52	70
研修(自己研鑽)に関すること	371	704	874
事務(報告等事務)	1,530	1,803	1,751
事務(契約・登録等事務)	161	153	120
その他	1,195	1,169	1,175

14 振興局の職員は手話通訳派遣に関するコーディネート業務の他、登録員研修への取り組み、地域協会やサークル、通研との連携等行い、ろうあ者相談員の不在地域では各種相談、電話通訳、代筆・代読など生活にかかわる支援も担っている地域もあります。また地域自治体(市町村)とのパイプ役を担い派遣や養成に関してのアドバイスを行い、北海道手話言語条例を道職員に啓蒙する目的で振興局職員を対象に手話学習も実施しています。全職員が札幌に集合し職員研修を5回(2月はオンライン開催しました。)

### 【職員研修】

・第1回 5月25～26日

・第2回 8月24～25日

- ・第3回 10月12日
- ・第4回 2023年1月19～20日
- ・第5回 2023年2月20日 全職員 Zoom 研修（ホスト：情報センター）

派遣チーム	養成チーム	統計チーム
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全道ろうあ者夏季体育大会・全道ろうあ者大会通訳配置に伴う調整・連絡と事後の振り返り、まとめ等</li> <li>・派遣事例の集約と共有・相談等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録通訳者への現任研修の企画立案と事後の振り返り、まとめ等</li> <li>・職員対象のスキルアップ研修企画立案と事後の振り返り、まとめ等</li> <li>・その他、養成に関する事等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳派遣実績、月間、年間集計精査分析等</li> <li>・広域派遣実績精査等</li> <li>・月間活動報告書精査等</li> </ul>

### 【知事会見 手話通訳派遣】

北海道知事定例記者会見に手話通訳を派遣

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	3	3	5	4	2	4	4	3	4	3	1	41

### 3. 遠隔手話サービス事業

情報提供施設内にオペレーター（手話通訳者）を配置し、タブレットによる遠隔手話通訳を通じて、聴覚障害者と各市町村役場窓口等における意思疎通支援対応の円滑化を図りました。また、北海道手話通訳問題研究会、北海道手話サークル連絡協議会合同研修会等において、遠隔手話通訳に関わる制度等説明会を開催するなど制度普及に努めた結果、微増ではあるが、遠隔手話サービスを実施する市町村の増加が図られた。

#### 【契約市町】

- 空知(3) …… 深川市、赤平市、栗山町
- 石狩(1) …… 当別町
- 後志(2) …… 余市町、仁木町
- 胆振(2) …… 白老町、洞爺湖町
- 日高(1) …… 新ひだか町
- 渡島(1) …… 七飯町
- 上川(2) …… 東川町、当麻町
- 宗谷(1) …… 稚内市
- オホーツク(2) …… 網走市、美幌町
- 十勝(3) …… 音更町、陸別町、足寄町

計 18市町 (前年度 17市町)

#### 【通訳実績】

○6町（余市町・新ひだか町・当麻町・稚内市）

○通訳件数等 10件（余市町3・新ひだか町1・当麻町4・稚内市2）

#### 4. 北海道登録要約筆記者派遣事業

##### （1）北海道要約筆記者登録者

区 分	登録者数	内 訳		
		手書	PC	手書・PC
札幌市	23	12	8	3
旭川市	11	5	1	5
函館市	1		1	
計	35	17	10	8
石 狩	16	11	5	
渡 島	2	2		
檜 山				
後 志				
空 知	2	1		1
上 川	3	1	1	1
留 萌				
宗 谷				
オホーツク	1	1		
胆 振	4	2	2	
日 高				
十 勝	6	2	4	
釧 路	3		2	1
根 室	1	1		
計	38	21	14	3
合 計	73	38	24	11

※2022年度全国統一要約筆記者認定試験合格者3名を含む（2023.3.31現在）

##### （2）北海道登録要約筆記者派遣実績（道派遣）

派遣件数 3件 派遣人数 10名 【内容】全道ろうあ者大会等行事

---

## Ⅱ 意思疎通支援者の養成

---

聴覚障害者のコミュニケーションの人的基盤となる手話通訳者・手話通訳士を養成した。

2014年度よりカリキュラムが改訂となり対応した講師の育成を充実させた。

### 1. 手話通訳者養成講座の開催（北海道委託事業）

## 【2022 年度手話通訳者養成講座】

目的：手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進に資する

日時：4月16日～11月27日 月1回（土・日）、10月は月2回（80講座）

会場：札幌会場：道立道民活動センター

苫小牧会場：苫小牧市福祉ふれあいセンター

内容：手話通訳者としての専門的な知識・技術の習得

テキスト 手話通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

対象者：北海道の委託を受けて手話奉仕員養成カリキュラムを修了した者もしくは修了と同等の知識・技量を有すると認められたもの

札幌会場：受講生 13名 修了者 11名（合格者 2名）

苫小牧会場：受講生 11名 修了者 7名（合格者 1名）

統一試験合格者 3名

## 各自治体における手話通訳者養成講座等受講経費助成事業 一覧表

2023.1.12 現在

自治体	助成対象者	助成内容		交付申請	助成申請時期	受付担	備考
函館市	函館市の手話通訳者登録員・要約筆記 手話通訳者登録員面接試験の意思を これまでに助成金交付を受けていない 手話通訳者養成講師	交通費	指定席往復割引料金 1/2	助成事業登録書 助成費支給申請書 道養成講座修了証 領収書の写し	講座終了後	函館市 障がい 福祉課	
		宿泊料	上限あり1/2				
室蘭市	室蘭市の手話協力員又は登録予定者・ 道養成講座を胆振管外で受講した修了 これまでに助成金交付を受けていない 室蘭市民であること	予算内であることが基準(1~2名)		交付申請書 道養成講座修了証 領収書の写し	講座終了後	室蘭市 障がい 福祉課	手話言語 条例制定
		交通費	1/2(実費)				
		宿泊料	市長判断				
登別市	(障害者社会参加等促進事業内奉仕員 登別市住民で18才以上 障害者団体より推薦を受けた者	予算内であることが前提		交付申請書 交付申請額算出調 事業計画実績・事業 実績報告書	講座前申請	登別市 障がい 福祉 グループ	手話言語 条例制定
		交通費	100%				
		宿泊料	支給				
		資料代	支給				
小樽市	小樽市内に在住する手話通訳者登録員	助成金	手話通訳士(8万円) 手話通訳者全国統一試験	交付申請書	試験合格後申請	小樽市 障がい 福祉	手話言語 条例制定
倶知安町	倶知安町に住所を有するもの 倶知安町の手話通訳者として登録する 町税に滞納の無い者	予算内であることが前提		交付申請書様式1(事前申 交付申請書様式3(終了後) 領収書の写し	様式1(事前申請) 様式3(終了後申請)	倶知安 福祉医	2021/3/31 交付
		交通費	100%				
		宿泊料	旅費規程上限(9,000円)				
赤平市	「赤平手話の会」の会員であること	予算内であることが前提		赤平市より赤平手話の会へ手話学習研修 費補助を行い、研修費補助内より赤平手 話の会が管理支給決定とする。		赤平市 社会福 祉課	2019年 から手話 言語条例
		1人の場	宿泊・交通費支給、資料代				
恵庭市	恵庭市に住所を有するもの 恵庭市の手話通訳者として登録する者 道養成講座を年度内に修了した者 これまでに助成金交付を受けてない者	交通費	1/2(実費)	経費助成申請書 道養成講座修了証 領収書等の写し	講座終了後	恵庭市 保健福 祉部障 がい福 祉課	2021/4/1 より適用
書籍代	1/2(実費)						

\* 申請については受付担当課による確認が必要となる。

\* 交通費(公共交通機関に限る)

(参考)

福祉人材育成事業補助金交付制度(手話通訳士対応)

新得町	既に町内の福祉事業所に就労してい ない者で、研修等終了後1年以内に町内 の福祉事業所(公立を含む。)に勤務す ること。ただし、公務員正規採用除く	予算内であることが基準で10万円まで		試験・講座案内資料 受験申込書写し 健康保険証写し		保険福	手話言語
		交通費	50km以上対象(1/2支給)				
		受験・受講	支給(1/2)				
		資料代	支給(1/2)				

## 2. 現任（登録）手話通訳者研修会の開催

手話通訳者として北海道ろうあ連盟に登録されている者を対象として、その知識・技術の維持・向上を図る研修会を開催した。（年3回：全道各地で開催、2021年度は1回）

開催内容

### 2022年度 第1回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日	開催時間	会場名	参加対象人数	参加人数	参加率
1	石狩	札幌市	7月9日(土)	9:00~12:00	かでの2・7	112	26	23.2%
2	渡島	函館市	8月28日(日)	13:00~16:05	函館市総合福祉センター	27	12	44.4%
3	檜山	今金町	7月16日(土)	9:30~12:30	今金町民センター	4	2	50.0%
4	後志	余市町	7月25日(日)	13:00~16:05	余市町中央公民館	24	6	25.0%
5	空知	中空知	7月10日(日)	10:00~12:40	滝川市身体障害者福祉センター	36	6	50.0%
		南空知	8月20日(土)	10:00~12:40	岩見沢広域総合福祉センター		12	
6	上川	富良野市	7月16日(土)	13:30~16:30	富良野文化会館	50	4	48.0%
		名寄市	7月17日(日)	13:30~16:30	総合福祉センター		4	
		旭川市	7月24日(日)	13:30~16:30	おびつた		16	
7	留萌	留萌市	7月27日(水)	18:00~21:00	はーとふる	4	2	50.0%
8	宗谷※	稚内市	7月18日(月)	13:30~16:30	キタカラ	8	5	71.4%
9	オホーツク	北見市	7月2日(土)	9:30~12:30	北見芸術文化ホール	15	5	33.3%
10	胆振※	伊達市	7月16日(土)	13:30~16:30	だて歴史の杜 カルチャーセンター	35	9	25.7%
11	日高※	苫小牧市	7月17日(日)	13:00~16:00	苫小牧市民活動センター	6	4	66.6%
12	十勝	帯広市	7月10日(日)	13:00~16:00	帯広市グリーンプラザ	33	14	42.4%
13	釧路	釧路市	6月29日(水)	18:30~21:00	釧路交流プラザさいわい	22	12	54.5%
14	根室※	根室市	8月28日(日)	12:50~16:10	別海町マルチメディア館	9	6	66.6%
<b>合計</b>						<b>382</b>	<b>145</b>	<b>37.9%</b>

※指導対応職員 宗谷:上川職員

根室:釧路職員

胆振・日高:次長



## 2022年度 第2回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日	開催時間	会場名	参加対象人数	参加人数	参加率
1	石狩	札幌市	11月23日(水)	13:00~16:00	かでの2.7	112	16	14.3%
2	渡島	函館市	11月23日(水)	13:00~16:35	函館市総合福祉センター	27	14	51.9%
3	檜山	今金町	10月15日(土)	13:20~16:10	今金町民センター	4	3	75.0%
4	後志	余市町	10月15日(土)	13:00~16:00	余市町中央公民館	24	12	50.0%
5	空知	岩見沢	10月15日(土)	9:30~12:30	岩見沢広域総合福祉センター	36	17	47.2%
6	上川	旭川市	11月23日(水)	13:20~15:40	旭川市市民活動交流センター	50	19	38.0%
7	留萌	留萌市	11月23日(水)	18:00~21:00	留萌福祉センターはーとふる	4	1	25.0%
8	宗谷	稚内市	11月23日(水)	13:30~16:30	キタカラ	8	5	62.5%
9	オホーツク	北見市	10月15日(土)	13:30~16:30	北見市総合福祉会館	15	13	86.7%
10	胆振	苫小牧市	10月15日(土)	13:30~16:30	苫小牧市福祉ふれあいセンター	35	9	25.7%
11	日高 ※	新ひだか町	10月15日(土)	13:30~16:30	新ひだか町地域交流センター	6	6	100.0%
12	十勝	帯広市	11月23日(水)	13:15~15:45	帯広市グリーンプラザ	33	18	54.5%
13	釧路	釧路市	10月15日(土)	12:50~16:00	釧路交流プラザさいわい	22	14	63.6%
14	根室 ※	根室市	11月23日(水)	13:20~15:40	根室市総合文化センター	9	5	55.6%
<b>合計</b>						<b>382</b>	<b>152</b>	<b>39.7%</b>

※指導対応職員

根室:釧路職員

日高:次長

## 2022年度 第3回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日	開催時間	会場名	参加対象人数	参加人数	参加率
1	石狩	札幌市	1月15日(日)	13:15~16:00	かでの2.7 510会議室	112	17	15.2%
2	渡島	函館市	1月29日(日)	13:00~16:10	函館市総合福祉センター	27	16	59.3%
3	檜山	今金町	12月17日(土)	10:00~13:00	今金町民センター	4	1	25.0%
4	後志	余市町	1月21日(土)	13:30~16:15	余市町中央公民館	24	8	33.3%
5	空知	岩見沢	12月3日(土)	9:30~12:30	岩見沢広域総合福祉センター	36	8	50.0%
		滝川	3月5日(日)	12:30~15:30	滝川市まちづくりセンター みんくる		10	
6	上川	富良野市	1月9日	13:30~16:30	富良野文化会館	50	2	34.0%
		名寄市	12月11日	13:30~16:30	名寄市総合福祉センター		5	
		旭川市	12月25日	13:30~16:30	障がい者福祉センター おびった		10	
7	留萌	留萌市	12月7日(水)	18:00~21:00	はーとふる	4	2	50.0%
8	宗谷※	枝幸町	9月23日(金)	10:30~14:30	枝幸町子育てサポート拠点施設 にじの森	8	5	63%
9	オホーツク	北見市	11月20日(日)	9:30~12:30	北見市総合福祉会館	15	9	60.0%
10	胆振※	室蘭市	12月11日(日)	13:30~16:30	室蘭市障害者福祉総合 センター	35	10	28.6%
11	日高※	むかわ町	12月10日(土)	13:30~16:30	むかわ町産業会館	6	5	83.3%
12	十勝	帯広市	10月16日(日)	13:30~16:30	帯広市グリーンプラザ	33	13	39.4%
13	釧路	釧路市	1月14日(土)	13:00~16:00	交流プラザ幸い	22	10	45.5%
14	根室※	根室市	11月23日(水)	9:00~12:00	根室市総合文化会館	9	5	55.5%
<b>合計</b>						<b>382</b>	<b>136</b>	<b>35.6%</b>

※指導対応職員 宗谷:上川職員

根室:釧路職員、

胆振・日高:次長

### 3. 要約筆記者養成講座の開催

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話の理解と取得の困難な中途失聴者・難聴者のコミュニケーション手段として不可欠な要約筆記者を養成した。

#### (1) 要約筆記者養成講座の開催・統一試験の実施（北海道委託事業）

目的：要約筆記者を養成し、聴覚障害者等の福祉の向上等を図ることを目的とする。

日程：14日間 84時間（札幌会場・北見会場2か所）

2022年9月3日（土）・4日（日）、9月24日（土）・25日（日）、10月8日（土）・9日（日）、10月22日（土）・23日（日）、11月5日（土）・6日（日）、11月26日（土）・27日（日）、12月10日（土）・11日（日） 毎回10:00～17:15

開催地：札幌会場（かでの2.7）、北見会場（総合福祉会館、カーリングホール）

※北見は手書きのみ

内容：要約筆記者としての専門的な知識・技術の習得、統一試験の実施

対象：聴覚障害者の福祉に理解と熱意があり、講座受講終了後、全国統一要約筆記者認定試験を受験することを条件とする。

受講数：26名（札幌会場）手書き9名（札幌、北広島）

パソコン8名（札幌、千歳、北広島、小樽、余市）

（北見会場）手書き9名（北見市、網走市、美幌町、斜里町）

試験対策講座：札幌会場 2023年1月22日（日）／手書き11名（再受験者2名含）

パソコン7名（再受験者1名含）

北見会場 2023年1月29日（日）／手書き7名

統一試験：受験申込数 32名（手書き23名・パソコン9名）

受験者数 29名（手書き21名・パソコン8名） →合格者数3名

#### (2) 要約筆記者指導者養成研修への派遣

要約筆記者養成講座の指導者の養成目的に開催される「要約筆記者指導者養成研修」へ受講者を派遣。

講座：難聴者コース（当事者講師を目指す者で、都道府県障がい福祉課等が認めた者）

会場：全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）、一部リモート研修あり

修了者：中途失聴・難聴者1名（土幌町）

#### (3) 要約筆記者現任研修（登録）の開催

要約筆記者として北海道に登録している要約筆記者に対し、オンラインを併用した研修会を開催し、要約筆記者個々及び全体の資質の維持・向上を図る

日時・種別 2022年12月3日、17日 パソコン（オンライン） 8名、11名

2022年12月18日 手書き（オンライン・かでの2.7会場） 19名（午前午後合計）

2023年3月19日 手書き（オンライン・かでの2.7会場） 17名（午前午後合計）

2023年3月21日 パソコン（オンライン） 8名

参加者合計：63名

講義内容：模擬実習・要約技術の検証

#### 4. 通訳士育成研修会の開催

##### 【2022年度手話通訳士育成講座】

日時：2022年9月3日（土）13：30～18：20 4日（日）9：00～16：00

会場：道立道民活動センター・北海道聴覚障がい者情報センター

対象者：①本年度の手話通訳士試験に挑戦する者

②次年度以降、手話通訳士試験の挑戦を考えている者

内容：技術 手話の文法的特徴、口頭読み取り、聞き取り表現、模擬試験

参加者：4名

#### 5. 手話通訳者養成講師育成研修会の開催

##### 【2022年度手話通訳者養成講師育成研修会】

日時：2022年9月25日（日）10：00～12：00

会場：①札幌会場 かでる 2.7 730 研修室

②旭川会場 常盤市民ホール

③函館会場 函館市総合福祉センター

内容：①手話奉仕員養成講座の指導ポイント

②入門課程の流れと課題

参加者：34名（3会場及び個人オンライン参加）

#### 6. レベルアップ講座

(中標津) 日時：2022年10月1日（土） マルチメディア館 参加者：6名

(別海) 日時：2022年10月2日（日） 総合福祉センタープラッ 参加者：7名

(釧路) 日時：2022年10月8日（土） 交流プラザさいわい 参加者：7名

(滝川) 日時：2022年10月22日（土） 町づくりセンターみんくる 参加者：3名

(札幌) 日時：2022年10月29日（土）～30日（日）

札幌市聴覚障がい者情報センター 参加者：17名

(留萌) 日時：2022年10月29日（土） 中央公民館 参加者：6名

(黒松内) 日時：2022年10月29日（土） 保健福祉センター 参加者：10名

---

### Ⅲ手話の普及事業

---

#### 1. 手話研究集会の開催

## 【第42回北海道手話通訳問題研究集会】

日 時：2022年7月3日(日) 14:00～18:00

会 場：道民活動センター・オンライン開催

内 容：講演「ろうあ運動を考える」

ろうあ運動の歴史を振り返りながら地域での手話通訳養成の課題・手話通訳の役割・ろうあ運動の現状と課題について

講師 (一社)全国手話通訳問題研究会参与 小出 新一氏

参加者：117名

## 2. 手話講師の派遣

手話や聴覚障害の普及・啓発を図るため講師を派遣した。

### ① 北海道ろうあ連盟法人部門

日時・会場	依頼者・会合名・内容
7月14日・21日、8月4日・18日、 9月1日・8日・29日、10月6日・20日・ 27日、11月10日・17日・24日、12月8 日・15日・22日、1月12日・26日、2月 2日・9日 洞爺湖町役場・かでの2.7(遠隔手話講座)	洞爺湖町職員及び町民向け手話講習会 講義・実技
6月20日、7月4日、8月1日・3日・9 日、9月20日・26日、11月7日・9 日・28日、12月5日・7日 自治労会館、第2水産ビル	日本経営協会 北海道新採用職員研修 講義・実技
2022 4月～9月 前期 全15回	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校 保育学科 講義・実技、手話検定試験5級(全員合格)
2022年10月～2023年2月 後期 全16回(1回3コマ) 札幌観光ブライダル・製菓専門学校	学校法人安達学園 札幌観光ブライダル・製菓専門学校 ユニバーサルサービス(手話)授業・遠隔含

### ② 手話通訳派遣センター養成研修部門

日 時	依頼者・会合名・内容
10月3日(月)18:30～20:30 釧路町保健福祉センター	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
10月17日(月)18:30～20:30 釧路町保健福祉センター	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
10月24日(月)18:30～20:30 釧路町保健福祉センター	釧路町：手話奉仕員レベルアップ研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等

10月29日(土)13:00～16:00 釧路町富原大通会館	釧路町：手話通訳者研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
10月31日(月)18:30～20:30 釧路町保健福祉センター	釧路町：手話通訳者研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
12月3日(土)13:00～16:00 釧路町保健福祉センター	釧路町：手話通訳者研修会 実技：講義：「手話通訳実践」「理論学習」等
1月30日(月)18:00～19:30 士別市役所	士別市：手話通訳者応用講座 実技：講義：「ICT活用実践」「表現練習」等

## IV 北海道聴覚障がい者情報センター

### 1. 聴覚障害者情報提供施設関係

#### (1) 北海道聴覚障がい者情報センター利用者数

月 度	来館者数	月 度	来館者数	月 度	来館者数	月 度	来館者数	
4月	16	5月	24	6月	16	7月	16	
8月	6	9月	18	10月	15	11月	33	計
12月	15	1月	28	2月	6	3月	37	230

#### (2) 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

##### ①2022年度総会・第18回施設大会

日程：2022年6月17日（金） 会場：愛知県

対面（3年ぶり）とオンラインのハイブリッド方式で開催。北海道からはオンライン出席。

ICT活用の強化が求められるようになり、全国的に知識や技術を持つ職員の確保が課題。

貸出し数が減っているライブラリーのオンライン化と ICT活用による遠隔手話通訳・遠隔要約筆記の広がりを図りたい。

「意思疎通支援専門委員会」「情報メディア専門委員会」「ICT専門部会準備チーム」「相談専門部会準備チーム」を設置し、検討を重ねている。

##### ② 第1ブロック（北海道・東北）活動研修会

日 程：2022年11月4日（金） 会場：宮城県聴覚障害者情報センター

会場出席（青森・岩手・宮城・福島・北海道）とオンライン出席（札幌・秋田・山形）のハイブリッド方式

内 容：・2024年度総会・施設大会は第1ブロック担当。宮城県仙台市開催で決定。

・第1ブロックのブロック長、事務局長および、全国協議会の情報メディア委員、

意思疎通委員を持ち回りとすることを決定。

→2023～2024 年度ブロック長：北海道、事務局長：青森

### (3) 北海道聴覚障がい者情報センター運営懇話会

北海道聴覚障がい者情報センターの運営を円滑に推進するために年1回以上開催することになっているが、「全国ろうあ者体育大会」や3年ぶりに会場開催された「全道ろうあ者大会」などで日程調整が厳しく、中止となった。

### (4) 北海道聴覚障がい者情報センター運営委員会の開催

第1回	2022年4月23日(土)	13:00～16:00	かでの2.7
第2回	2022年11月19日(土)	14:10～16:00	かでの2.7
第3回	2023年2月18日(土)	13:00～16:00	かでの2.7

### 運営委員会出欠表

役職	氏名	第1回	第2回	第3回
		4月23日	11月19日	2月18日
委員長	山根 昭治(北ろう連)	○	欠	○
副委員長	渋谷 雄幸(北ろう連)	○	○	○
委員	佐々木亜規子(道中失協)	○zoom	○zoom	欠
委員	藤野 友紀(学識経験者)	○	欠	○
委員	尾形 直樹(北手協)	○	○	○
委員	渋谷 悌子(北通研)	○	○	○
委員	松井 宏幸(道士会)	○	○	○
委員	山田 久美子(全要研道ブロック)	○zoom	○zoom	○
委員	永井 千里(道要約筆記者の会)	○	○	○
委員	打矢 郁子(道要約筆記者サークル連絡協議会)	○	○	○
委員	大内 祥一(北ろう連)	○	○	○
委員	中 和彦(北ろう連)	○	○	○
委員	宮内 博子(施設長)	○	○	○
委員	高嶋 正博(北ろう連)	欠	○	○
委員	佐々木柄理子(北ろう連)	○	○	○
委員	金原 浩之(北ろう連)	○	欠	○
事務局	伊藤 喜幸	○	○	○

(5) 聴覚障害者災害救援北海道本部会議

第2回	2022年11月19日(土)	13:00~14:00	かでの2. 7
-----	----------------	-------------	---------

本部会議出席表

役 職	氏 名	第2回
		11月19日
本部長	山根 昭治(北ろう連)	欠
副本部長	渋谷 雄幸(北ろう連)	○
委 員	中 和彦(北ろう連)	○
委 員	宮内 博子(北ろう連)	○
委 員	佐々木亜規子(道中失協会)	○ zoom
委 員	山田 久美子(全要研)	○ zoom
委 員	永井 千里(道要約筆記者の会)	○
委 員	尾形 直樹(北手協)	○
委 員	渋谷 悌子(北通研)	○
委 員	松井 宏幸(道通訳士会)	○

- ・「広報部」「企画部」「事務局」を設置し、活動可能な人が部員となり、メールやオンライン中心に活動する取り組みを進めることを確認した。

2. 字幕ビデオライブラリー事業

北海道の補助を受けて、(社福)聴覚障害者情報文化センター・札幌市視聴覚障がい者情報センター等と連携し、字幕・手話付き映像作品の制作と貸出やHPでの閲覧業務を行った。

- ・対象：聴覚障害者、聴覚障害者福祉関係機関・団体、手話学習者等

(1) 【貸出事業】

手話・字幕が付与されたDVDを北海道内の聴覚障がい者や手話関係者に貸出を行った。

- ・新規登録数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者			1										1
団体・学校・施設等	1	2		1		1				1			6
合 計	1	2	1	1		1				1			7



・貸出数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出数	1	1	1	3		9	9		3	6	3	4	40

・貸出人数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者						2			1	2		2	7
団体・学校・施設等	1	1	1	3		1	4			1	1		13
合 計	1	1	1	3		3	4		1	3	1	2	20

(2) 【知事会見手話ワイプ制作事業】

北海道知事定例記者会見に手話通訳付きの動画を作成し道のHPで公開した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	3	5	2	3	3	5	3	4	3	2	5	40

### 3. 手話通訳者全国統一試験

手話通訳者養成講座修了者及び同等の知識・技術を有するものを対象に全国手話研修センター主催の試験を道内4か所で実施した。

日 時：2022年12月3日（土）

会 場：札幌市・苫小牧市・函館市・旭川市

区分	会場	申込者数	受験者数	合格者数
養成講座修了者	札幌	9	9	2
	苫小牧	9	8	2
同等の知識・技術を有するもの	札幌	15	14	0
	苫小牧	3	2	1
	函館	4	4	0
	旭川	14	12	1
合 計		54	49	6
合格率		12.24%		

#### 4. 2022年度 北海道手話通訳者健康問題対策委員会（情報・コミュニケーション部）

日 時：2023年1月14日（土） 10：00～12：00（リモート会議）

出席者：北ろう連：中、伊藤（渋谷委員長欠席） 北通研：渋谷（悌）、七尾（板谷委員欠席）

北手協：坂元 道士会：松井、山田 北ろう組：中田（オンライン参加）

【内 容】

- ① 北通研より健康アンケート集計報告、健康学習会のお知らせ

- ② 手話通訳者の動態調査実施(全通研からの依頼)
- ③ 会計収支報告

---

## V 聴覚障害者の福祉の増進に関する事業

---

### 1. 全道ろうあ者相談員・全道専任手話通訳者研修会の開催

#### 【第48回全道ろうあ者相談員研修会・第45回全道専任手話通訳研修会】

目的：ろうあ者相談員・専任手話通訳者の資質の向上を図るため、福祉に関する諸問題を討論する研修会を開催した。

日時：2022年10月13日（木） 9：30～17：00  
10月14日（金） 9：30～15：30

会場：道民活動センタービル

内容：①講演：「ろう者精神医療36年間の取り組み、でもわからないことがいっぱい」  
講師：社会福祉法人双葉会診療所 院長 片倉 和彦氏  
②演習・レポート発表、討議

参加者：56名

### 2. 道政等懇談会

#### (1) 北海道聾学校校長会との教育懇談会（ろう教育部）

日時：2022年12月6日（火）13:30～15:45

会場：かでの2.7（連盟）、各校とのオンライン会議

出席者（全道聾学校校長会）

会長	須見 千慶	（北海道高等聾学校長）
副会長	四木 定宏	（北海道札幌聾学校長）
事務局長	菅野 弘尊	（北海道旭川聾学校長） 司会担当
理事	大塚 雅彦	（北海道帯広聾学校）
理事	二階堂 洋子	（北海道室蘭聾学校校長）
監事	門真 義弘	（北海道函館聾学校校長）
監事	北嶋 公博	（釧路鶴野支援学校校長） ※当日欠席

（連盟）

山根理事長、渋谷副理事長、大内副理事長、中常務理事

宮内理事（道聴覚障がい者情報センター施設長兼教育・文化対策担当）

※内容については参考資料をご覧ください。

## (2) 教育局との懇談会

諸事情により調整がつかず、中止となった。

## (3) 道政懇談会（福祉）

日 時：2022年11月21日（月） 10：00～11：30

会 場：道立道民活動センター（かでの2.7）

出席者：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課／秋田課長、長多係長、鈴木主査  
連 盟／山根理事長、渋谷副理事長、大内副理事長、中常務理事  
北海道聴覚障害者情報センター施設長 宮内理事  
京野理事、橋本理事、佐々木理事

議題：聞こえない・聞こえにくい者の福祉施策への要望

- 1) 「日本手話言語法」の早期制定を北海道から国に要望
- 2) 北海道が制定した手話言語条例に基づき、手話言語への理解と普及
- 3) 合理的配慮の提供推進や障害者への差別・優生思想の払拭のため

災害分野の要望

- 1) 防災情報は、手話・字幕を挿入した情報となるよう市町村に働きかける
- 2) 避難所のコミュニケーション・情報保障のために

社会福祉資源の要望

- 1) 北海道の聴覚障害者が地域格差なく公平な福祉サービスを利用
- 2) 道が市町村に支援するために意思疎通支援従事者キャリアパス構築支援事業  
社会参加のための要望

- 1) 道の施設、公共施設に「手話マーク」、「筆談マーク」の普及
- 2) 道の施設、公共施設における芸術・映像作品、展示作品等の通訳言語・字幕
- 3) 民族共生像微空間(ウポポイ)における情報バリアフリー配置

手話通訳関連要望

全国手話通訳者統一試験・受講生の経済適負担解消等) 6項目

今回は昨年度に引き続き、国への要請を加えて、また災害分野の要望や情報センターの環境整備と手話通訳者関連事業等6項目の要望は、報告事項の参考資料を参照してください。

## (4) 道政懇談会（労働）

北海道労働局懇談会は、日程調整の都合により2022年度は開催せず2023年度に向けてハローワークの手話協力員にアンケートを実施したうえで要望を出したい。

---

# VI 聴覚障害者福祉に関する普及・啓発

---

## 1. 全道ろうあ者大会の開催

【第63回全道ろうあ者大会 in 網走】

日 時：2022年7月29日(金)～31日(日)

会 場：網走市オホーツク・文化交流センター（エコーセンター2000）

内 容：①記念講演「ろう学校の教員時代を振り返って」

講師：日本体育大学附属高等支援学校 校長 島崎 洋二氏

②セミナー（1）「日本手話研究所の歴史と未来」

講師：日本手話研究所 所長 高田 英一氏

③セミナー（2）「スターバックスコーヒーとして 聴覚障害者及び障害者を雇用した経過、背景等について」（オンライン）

講師：スターバックスコーヒージャパン株式会社 本社社員

④青年部・女性部セミナー 「国際手話についてパート2」（オンライン）

講師：（一財）全日本ろうあ連盟青年部中央委員会監事 安齋 美和子氏

各セミナーの参加数 223名（会場参加118名・オンライン参加105名）

⑤高齢者のつどい「網走市内バス観光ツアー」 参加数50名

北海道立北方民族博物館→オホーツク流氷館→道の駅 流氷街道網走

参加者：521名（会場参加：281名・オンライン参加240名）

## 2. ろうあ者労働問題フォーラムの開催

【第25回ろうあ者労働問題フォーラム】（詳細はHSK北聴第239号9P参照）

日 時：2022年10月30日（日）10：00～15：00 受付9：30～

会 場：道立道民活動センター 7階 730会議室

内 容：①講演：「障害者差別解消法と聴覚障害者の労働問題を考える」

講師：札幌弁護士会 弁護士 西村 武彦氏

②グループ別討議

参加者：21名（対面及びオンラインによるハイブリッド方式）

## 3. ろう教育フォーラム in 北海道の開催

【第23回ろう教育フォーラム in 北海道】（詳細はHSK北聴第238号4P参照）

日 時：2022年8月11日（祝・木）13：00～16：00

会 場：道立道民活動センター 10階 1040会議室

内 容：講演「きこえない私が好き 自分らしく生きる

～松江ろう学校で乳幼児教育相談と校長として取り組んだこと～」

講 師：（社福）十神やすぎ保育園園長 福島 朗博氏（前・島根県立松江ろう学校校長）

参加者：57名（会場及び個人オンライン参加）

## 4. スポーツリーダー育成研修会の開催

【2022年度北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成研修会】

日 時：2023年1月15日（日）10：00～12：00

会 場：道立道民活動センター（かでの 2.7）

内 容：①講演：第24回夏季デフリンピック競技大会ブラジルに参加して・・・

講師：梅村 正樹氏（日本デフ卓球代表監督）

②デフリンピックに関するミニ講義

参加者：24名

## VII 収益等事業

### 1. 出版等事業

①出版事業（書籍の制作・販売、（一財）全日本ろうあ連盟が扱う書籍の販売）

2022年度書籍売り上げ（数）ベスト20

2023年3月31日現在

順位	品名	売上冊数	昨年参考		売上額 (円・税抜)	備考
1	防災・災害関連用語ハンドブック	641	—		295,500	
2	手話を学ぼう手話で話そうテキスト	631	395	↑	1,752,000	
3	新型コロナウイルス感染症関連用語	573	343	↑	265,600	
4	平和・軍事関連用語ハンドブック	569	—		263,250	
5	新しい手話 2022/2023	552	—		458,550	
6	新 たっちゃんと学ぼう	260	255	↑	52,000	
7	季刊 MIMI 176 (夏)	250	246	↑	215,922	参考：172号
8	季刊 MIMI 178 (冬)	243	242	↑	209,874	参考：174号
9	季刊 MIMI 177 (秋)	242	241	—	209,012	参考：173号
10	季刊 MIMI 179 (春)	237	235	↑	204,693	参考：175号
11	「咲む」プログラム	206	187	↑	93,644	
12	手話学習辞典Ⅰ（緑）	166	58	↑	406,900	
13	産む権利を奪われた聞こえない人たち	145	—		25,370	
14	「咲む」ミルキー	120	562	↓	12,000	
15	手話学習辞典Ⅱ（オレンジ）	85	41	↑	210,600	
16	聴さんと学ぼう！	47	18	↑	39,600	
17	手話通訳者養成講義テキスト改訂版	39	120	↓	66,240	
18	2022 全国手話検定試験解答集	30	—	↑	97,781	
19	手話通訳Ⅰ テキスト	28	55	↓	77,000	
20	手話通訳Ⅱ テキスト	24	30	↓	63,840	

## 2. 手話カレンダー等事業

2022 年度手話カレンダー売上

2023 年 3 月 31 日現在

品名	仕入	贈呈	販売数 (昨年)	残数	売上額 (昨年)
手話カレンダー (大)	1,700	91	1,567 (1,561)	42	774,600 (650,800)
手話カレンダー (小)	1,700	93	1,552 (1,672)	55	696,950 (600,100)
合計	3,400	184	3,119 (3,233)	97	1,224,500 (1,250,900)

## 3. 自動販売機手数料事業

	設置場所	売上手数料
1	道立総合体育センター (きたえーる)	89,713 円
2	渡島振興局 (2 台)	131,482 円

## VIII 相互扶助等事業

### 1. 機関紙「北聴」発行

2022 年度	主な内容
第 236 号 (5 月 10 日発行)	第 10 回定時社員総会開催案内
第 237 号 (7 月 10 日発行)	第 10 回定時社員総会開催
第 238 号 (11 月 10 日発行)	第 63 回全道ろうあ者大会 in 網走
第 239 号 (1 月 10 日発行)	謹賀新年挨拶・第 56 回全国ろうあ者体育大会
第 240 号 (3 月 10 日発行)	スポーツリーダー育成研修・北ろう連合同研修会

※6 ページ (1 月 10 ページ)

#### 【2022 年度の報告】

#### 1) H S K 北聴の特徴

- ① H S K 北聴を 2 カ月ごとに 1 回、合わせて 6 回発行の予定でしたが都合上、5 回にしました。賛助会員 (8 団体・個人 28 名※2023 年 3 月時点) を募集して少しずつ増えてきています。
- ② コロナ禍に適応したオンライン会議、ハイブリッド形式での事業を増やしてきている状況

を記事化していきました。

③理事に入会したきっかけ、会員になって良かったことを書いてもらい、読者に協会の存在意義を振り返ってもらい、会員拡大の方法を検索するきっかけになると良いと思います。

## 2. 合同研修会

### 【2022 年度北ろう連合同研修会】

日 時：2022 年 11 月 5 日（土）～6 日（日） 13：30～翌 15：30

会 場：6 会場（札幌・旭川・函館・釧路・北見・帯広）

参加人数：10 協会 約 58 名

内 容：第一講目 『状勢と課題』（組織部）

①「第 1 回ブロック代表者会議報告」

②「ワークショップ「三拡大運動及び運動の取り組み方法」

第二講目 『状勢と課題』（情報・コミュニケーション部）

①講話「電話リレーサービスと遠隔手話通訳の違い」

②講話「道内における手話通訳者の現状と課題」

③ワークショップ 「地域における手話通訳者」の現状と課題）

第三講目 『運動の取り組み』（労働・福祉部）

①報告：事例「ろう運動の動き&取り組み」

②ワークショップ「ろう運動の動き&取り組み」)

2021 年度から Zoom によるオンラインと対面を同時に行ったハイブリッド研修は 24 協会のうち 10 協会、約 58 名が参集しました。同研修は、2 日間にわたり組織部、情報・コミュニケーション部、福祉・労働対策部が一緒になり、それぞれ企画を設け実施しました。今回新たに導入したブレイクアウト(グループミーティング)はオンラインをとおして、協会同士の現状、課題、解決方法そして情報共有がとれ、お互い学びあえた研修でした。(詳細は北聴 3 月号掲載)

## 3. 生活訓練事業

聴覚障害者の社会生活に関する各種教室等を開催する加盟団体を支援した。

ブロック	道南 ブロック	道央ブロック	道北 ブロック	道東ブロック
期 日	中 止	7 月 3 日（日）	中 止	1 月 21 日（土）
会 場		石狩市（花川北コミュニティセンター）		釧路市（サシアビリティーズ 釧路）
参加者		25 名		20 名
内 容		主に ・全国ろうあ者大会の評議員会、研究分科会の報告 ・各地の手話言語条例の現状や活動報告		「ボッチャを学ぼう」 パラリンピック競技の影響で普及しているようすで、どのような競技なのか、また障害に関係なく楽しめるスポーツであることを理解した
講 師		全日本ろうあ連盟評議員		(社福) 釧路市社会福祉協議会

---

## IX 連盟各部・委員会等の活動に対する支援

---

### 1. 組織部

#### (1) 24 協会事務局長オンライン会議 (Zoom によるオンライン会議)

日 時：2022 年 3 月 29 日 (火)・3 月 31 日 (木)・4 月 6 日 (水)

4 月 8 日 (金) 計 4 回

会 場：Zoom によるオンライン会議

19 会場 (函館・札幌・北広島・根室・十勝・小樽・旭川・美唄・石狩・後志  
岩見沢・釧路・江別・千歳・上北・帯広・北見・苫小牧・北斗)

対面会議 3 会場 (室蘭・伊達・稚内)

紙面による回答 1 会場 (登別)

参 加 者：各協会 会長・副会長・事務局長

内 容：意見交換会

今回は事務局と組織部が任務し、1 回のみでしたが、三拡大運動、若手育成、組織のあり方、10 人以下の会員がいる協会の今後の見通しなどざっくばらんに話し合いました。残念ながら 24 加盟団体協会全て話し合うことはできませんでしたが、地域の現状課題が見えてきているので今後も引き続き事務局長連絡会議を数回開催していきたいと思います。

#### (2) 北海道ろうあ連盟の現状と課題

地理的、時間的、経済的な事情で参加が難しい協会に対するオンラインは参加率が増え、今後も対面とオンラインを併せ持ったハイブリッド形式で続けたいと思います。24 協会事務局長連絡会議は、2 名のみで会員がいる協会は 3 カ所、10 人以下の会員がいる協会が 10 カ所とあり、今後の展望としてどのようにしていくかを検討していきたいと思います。引き続き、加盟団体協会との連携をより一層強化し、オンライン接続が出来ない協会に対して必要機器の借用とフォロー体制を練っていきます。

運動の一つとしてあげられている三拡大 (会員、日聴紙・MIMI 読者) の取り組みに関しては、成功例を出し合い共に取り組んでいくことを共有しあい、実施できるようご協力をお願いしたいと思います。



(3) 会員の所属自治体（61自治体）2022.12.31 届け出による。

道南		道央	道北		道東	
小樽市	黒松内町	石狩市	旭川市	愛別町	網走市	斜里町
伊達市	鹿部町	恵庭市	赤平市	下川町	帯広市	白糠町
苫小牧市	寿都町	江別市	岩見沢市	鷹栖町	北見市	新得町
登別市	泊村	北広島市	士別市	当麻町	釧路市	津別町
函館市	七飯町	札幌市	滝川市	羽幌町	根室市	中標津町
北斗市	古平町	千歳市	名寄市	東川町	池田町	幕別町
室蘭市	森町	夕張市	美唄市	東神楽町	音更町	美幌町
	余市町	当別町	富良野市	三笠市	釧路町	芽室町
			稚内市		訓子府町	羅臼町

\*あいうえお順

\***ゴシック体**は加盟団体協会事務局がある自治体

(4) 組織の現状と特徴

	ブロック	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
ブロック 委員会 委員氏名	構成 役職	後志・胆振・ 渡島管内	石狩管内	上川・空知・ 宗谷管内	釧路・根室・十勝・ オホーツク管内
	委員長	熊倉晃（小樽）	猫宮邦裕（千歳）	稲荷山佳光（美唄）	高畑美優治（十勝）
	副委員長	山本時枝（伊達）			五十嵐司（帯広）
	事務局長	山野未来（後志） 付：宮武美登里（室蘭）	杉本五郎（石狩）	野田一男（旭川） 副：橋本由美（旭川）	水口拓也（十勝）
	会計部長	酒井幹雄（苫小牧）	野口和伸（札幌）	工藤努（旭川）	鎌野英幸（十勝）
	組織部長			岡崎尚則（上川北部）	
	監事	大澤利彦（函館） 山田隆（登別）	大谷政敏（北広島）	大田晃栄（旭川）	山本理恵（帯広）
ブロック内サークル、北通研との共同や連携に関することなど	例）サークル育成、ろう相設置、通訳者、奉仕員講座開設、講師養成、登録、派遣制度に関する意見交換などありましたら書いてください。 なし	なし	なし	なし	
ブロック 委員会の 開催	社員 総会前	例）ブロック内（地域）の福祉課題の検討や取組み、議案、提案、懸案事項への意見集約に関して どんなことがあったか書いてください 道南ブロック評議員 会はコロナ感染拡大 防止のため中止	なし	なし	なし
	社員 総会后	例）全国、全道的な運動課題の検討や取組み、大会決議、運動方針の具体化などはどんなことが あったか書いてください。 なし	なし	なし	なし
ブロック 研修 交流会の 開催	期 日	中止	7月3日		5/21(土)22(日)
	会 場		石狩市（花川北コミュ ニティセンター）		釧路市（高山の森 他）
	参加者		25名		41名
	内 容		第70回全国ろうあ者大 会 in ひろしまで行わ れた、評議員会の報告		21日（土） ・スポーツ交流会 パークゴルフ競技

			午後の交流会はコロナ禍のため中止。		27名 ・ブロック会議 5協会14名 22日(日) ・スポーツ交流会 フロアカーリング競技 12チーム24名
振興局内代議員  選出の調整				旭川範囲は臨時総会で代議員選挙を行う。旭川市街在住者はその範囲で代議員選挙を行う。岩見沢、上川北部は役員会で協議。美唄・中空知・稚内はなし	
その他			9/17.18日、第56回全国ろうあ者体育大会を道央ブロックで分散開催。 札幌市：野球、テニス、ボウリング、フットサル、バスケット、卓球、陸上、(ソフトバレー) 石狩市：ソフトボール、(パークゴルフ) 江別市：バレーボール(男子部) 恵庭市：バレーボール(女子部) 千歳市：サッカー		

## 2. 教育・文化対策部

全国ろうあ者大会写真コンテスト入賞者作品展示を3年ぶりに開催しました。  
北海道からの入賞者「自由部門」6名（「全日本ろうあ連盟理事長賞」、「市長賞」など）、  
「課題部門」7名（「県教育委員会賞」「県写真材料商組合賞」など）

## 3. スポーツ部

### (1) スポーツ委員会

日 時：2023年1月15日(日) 13:00～15:00

会 場：道立道民活動センター(かでの2.7) 730号室

競技団体：バドミントン、サッカー、フロアカーリング、ボウリング、パークゴルフ

男子バレーボール、ソフトバレー、ソフトボール (欠) ゲートボール

ろう協会：札幌、旭川、小樽、室蘭、帯広、函館、北広島、十勝

内 容：1, スポーツ委員会活動報告

2, 第56回全国ろうあ者体育大会(北海道)報告

3, 各競技団体より経過報告と今後の予定

### (2) スポーツ委員会体制について

委員長 熊倉 晃(小樽)

事務局長 和田 由記子（室蘭）・事務局員 長谷 和明（札幌）

#### 4. 青年部

(1) 第63回全道ろうあ者大会in網走「青年のつどい」

日 時：2022年7月30日（土）

今回は青年部と女性部合同で2年連続「国際手話パート2」をセミナーとして実施した。

講 師：全日ろう連青年部中央委員会監事 安齋美和子氏

(2) 第35回全道ろうあ青年研究討論会 in 函館（ミニ青研）

日 時：2023年2月4日（土）～5日（日）

全日ろうあ連盟青年部中央委員会事務局長の中村貴恵氏をお招きして「国際」について講演していただいた。3つのグループに分かれて活発な議論が見られた。

2日目は「国際手話」を学習した。参加者数は25名。

(3) 第54回北海道ブロック代議員会in札幌

日 時：2023年1月14日（土）

会 場：札幌市 北海道立道民活動センター [かでの 2.7]

対面+オンライン併用、ハイブリッド形式で開催。

代議員会は28名のうち、出席9名、委任7名、16名で成立した。

事業報告や事業方針、会計などを審議し承認と賛成をいただいた。

役員改選も行った。

#### 【2023年度—2024年度青年部役員体制】

部 長	長谷 和明（札幌）	副 部 長	小林 愛美（千歳）
総務部長	清原 麻美（札幌）	財政部長	佐藤 尚行（札幌）
組織部長	竹田 聖也（札幌）	組織部付	菅原 翔太（旭川）
事業部長	小林 巧（千歳）	広報部長	幸村 咲（札幌）

・全国委員は以下の通り

長谷 和明、小林愛美、清原麻美、佐藤尚行、竹田聖也、菅原翔太

・2023年～2024年度全日ろう連青年部中央委員は以下の通り。

推薦中央委員：清原 麻美（きよはら まみ）

立候補中央委員：佐藤 尚行（さとう なおゆき）

#### 5. 女性部

(1) はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大から丸3年が経過し、私たち役員は会員のためには

どうすればいいか常に考えながら何とか事業の開催など実現しようとしてきました。

2023年度は皆様と一緒に考えながら、女性部のあり方や変化する社会状況の中でどう適応していくか、たくさんの課題があると思います。その際にご支援とご協力をよろしくお願い致します。

(2) 第63回全道ろうあ者大会「女性のつどい」について

日 時：2022年7月30日（土）

【変更事項】：オンライン配信の為、青年部と共同企画により「国際手話パート2」を企画しました。

(3) 第39回全道ろうあ女性交流会及び第32回研修会について

日 時：2022年10月8日（土）～9日（日）

会 場：千歳市

内 容：千歳市防災学習交流センター「そなえーる」見学と「カラーリング」を体験

参加者：16名

(4) 今後について

2023年度は女性部創立50周年を迎えることとなります。会員はもちろん歴代の先輩たちが歩み築いてきた活動があったからこそ、今の女性部として活動ができることに感謝しつつ、北海道ろうあ連盟女性部らしい取り組みを発信していこうと思います。

(5) 第9回（公）北海道ろうあ連盟女性部定期総会

日 時：2023年3月18日（土）

会 場：札幌市（道民活動センター）ハイブリッド方式

出席者：12名 委任：11名

昨年度同様、札幌会場での対面とオンライン併用のハイブリッド方式で開催しました。代議員会は23名のうち、出席12名、委任11名、23名で成立しました。

事業報告や事業方針、決算などを審議し承認と賛成をいただきました。

本来なら2021年度は50周年を迎え記念事業を実施したかったのですが、コロナ禍により2023年度に延長し、交流会及び研修会はお休みし2年遅れの記念事業を行うことについて賛成いただきました。また役職名を監査から監事に変更する規約改正を行いました。

【2023年度—2024年度女性部役員体制】

部 長：佐々木柄理子（千歳）

事務局長：福岡 静枝（札幌）

会計部長：杉本 洋子（石狩）

組織部長：不在

監 事：渡辺 菜穂子（札幌）

- ・一般財団法人 全日本ろうあ連盟女性部全国委員  
佐々木柄理子（千歳）、福岡静枝（札幌）
- ・一般財団法人 全日本ろうあ連盟女性部常任委員  
部 長：佐々木柄理子

## (6) 女性委員会

回	日程	場所	出席人数	主な内容
1	5月15日(日)	道立市民活動促進センター	5名	顔合わせ、業務内容の確認など
2	7月23日(土)	道立市民活動促進センター	4名	全道女性交流会&研修会の企画内容について
3	8月2日(土)	Zoom会議	5名	全道ろうあ者大会について
4	10月6日(木)	Zoom会議	5名	全道女性交流会&研修会の進捗状況
5	11月3日(木・祝)	道立市民活動促進センター	5名	全道女性交流会&研修会の反省点等
6	12月12日(月)	Zoom会議	5名	定期総会の案内書作成について
7	2023年2月11日	道民活動センター	4名	定期総会に向けて、創立50周年記念事業について

## 6. 高齢部

### 1. 2022年度事業報告

#### 全道ろうあ者大会「高齢者のつどい」

2022年度はコロナの感染拡大がおさまらず開催が危惧されましたが、全道ろうあ者大会は対面、オンラインで同時開催することに決定。

高齢部一大事業である高齢者のつどいは宿泊施設の確保や宿泊料金の問題から連続して中止も考慮しましたが、網走実行委員会の協力もあり規模を縮小し宿泊なしの観光のみで開催をすることができました。

### 2. 第14回北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会の開催

第14回北海道ろうあ連盟高齢部代議員総会を令和4年3月8日(火)道民活動センター「かでの2・7」会議室において開催しました

---

## X文化スポーツ推進事業

---

### 1. 文化スポーツ表彰・助成事業(文化スポーツ基金事業)

聴覚障害者の文化・スポーツ活動を振興するため、表彰・助成を行う。

文化・スポーツ委員会の開催

・2022年11月19日(土)

選考メンバー 委員長：山根昭治

委員：中 和彦、熊倉 晃、宮内博子、工藤 努、長谷和明  
木村克己（文化）、伊勢谷郁生（スポーツ）

2022年度 文化スポーツ賞及び助成事業 該当者なし。

## 2. 全道ろうあ者夏季体育大会の開催

全道ろうあ者夏季体育大会は第56回全国ろうあ者体育大会の開催のため休止

## 3. 全国ろうあ者体育大会の開催

### 【第56回全国ろうあ者体育大会】

目的：全国のろうあ者がスポーツを通して技を競い、健康な心と体を養い、自立と社会参加を促進し、あわせて国民のろうあ者に対する正しい理解を深めるために開くものである。

名称：第56回全国ろうあ者体育大会・(公社)北海道ろうあ連盟企画オープン競技

①第66回野球競技 ②第54回卓球競技 ③第52回バレーボール競技 ④第50回陸上競技 ⑤第40回サッカー競技 ⑥第39回テニス競技 ⑦第33回ボウリング競技 ⑧第28回ソフトボール競技 ⑨第28回バドミントン競技 ⑩第21回バスケットボール競技 ⑪フットサル競技(オープン競技)

北ろう連企画オープン競技：⑫ソフトバレーボール競技 ⑬パークゴルフ競技

開催日：2022年9月15日（木）～18日（日）

会場：札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、千歳市

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：公益社団法人北海道ろうあ連盟

第56回全国ろうあ者体育大会北海道実行委員会（(公社)北海道ろうあ連盟・北海道手話サークル連絡協議会・北海道手話通訳問題研究会・北海道手話通訳士会）

競技主管：北海道軟式野球連盟・北海道卓球協会・北海道バレーボール協会・(一財)北海道陸上競技協会・(公財)北海道サッカー協会・北海道テニス協会・北海道ボウリング連盟・北海道ソフトボール協会・北海道バドミントン協会・(一財)北海道バスケットボール協会・北海道ソフトバレーボール連盟・石狩パークゴルフ協会

競技会場：北ガスアリーナ札幌46・札幌市円山球場・美香保体育館・白石区体育館・豊平区体育館・江別市民体育館・恵庭市総合体育館・千歳市青葉公園サッカー場・手稲稲積公園テニス場。石狩市スポーツ広場・サンコーボウル・厚別区体育館・石狩市緑苑台パークゴルフ場

参加人数：45都道府県（不参加山口・徳島）選手908名、北海道企画96名

(競技区分) ①野球競技5チーム82名 ②卓球競技男子89名女子52名 ③バレーボール競技男子4チーム40名女子7チーム69名 ④陸上競技男子22名女子5名 ⑤サッカー競技5チーム93名 ⑥テニス競技男子19名女子8名 ⑦ボウリング競技男子91名女子37名 ⑧ソフトボール競技13チーム194名 ⑨バドミ

ントン競技男子 37 名女子 20 名 ⑩バスケットボール競技男子 3 チーム 22 名  
女子 3 チーム 23 名 ⑪フットサル競技男子 4 チーム 32 名女子 4 チーム 31 名  
【北海道企画】①ソフトバレーボール競技 9 チーム 48 名 ②パークゴルフ競  
技男子 39 名女子 9 名

動員数：3,300 名 選手 1,004 名(北海道企画選手含む)、監督コーチ等 58 名、スポー  
ツ委員・役員等 42 名、実行委員 39 名、大会要員等 699 名(4 日間延べ) 審判  
員 323 (3 日間延べ)、補助員 333 名(3 日間延べ) 開会式 470 名、応援 331 名  
(3 日間延べ)

#### 4. 荒木身体障害者スポーツ基金助成事業

荒木身体障害者スポーツ基金から助成を受けて、聴覚障害者のスポーツ行事を開催  
する。

「北海道ろう者ボッチャ体験講習&交流会」

日 時：2022 年 12 月 4 日(日)

会 場：かでの 2.7

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

---

## XI 全国会議・研修会への派遣・協力 (各理事)

---

### 1. 全国派遣

#### (1) 第 10 回(通算第 73 回)全日本ろうあ連盟評議員会

2022 年 6 月 10 日(金)～11 日(土) 広島県広島市

北海道ろうあ連盟評議員 11 名出席(メンバーは P35～36 参照)

#### (2) 組織部

##### ①全国ブロック代表者会議 対面

日 時：2022 年 6 月 10 日(金) 19:30～21:00

会 場：広島市中区地域福祉センター大会議室

内 容：ブロック団体活動に関するアンケートから

出席者：橋本組織部長・宮内施設長

##### ③ 全国ろう組織担当者会議 オンライン

日 時：2023 年 3 月 1 日(水) 19:00～20:30

会 場：オンライン

内 容：1) 会員拡大に向けて

2) 日聴紙・季刊誌みみ拡大に向けて

3) 加盟団体からの報告・提案

出席者：佐藤組織部員（橋本組織部長は全日本ろうあ連盟組織委員会の立場で出席）  
今回より 47 加盟団体を対象に 4 回に分けて開催

④ 第 32 回全国専従職員研修会

日 時：2022 年 12 月 16 日（金）～17 日（土）

会 場：兵庫県神戸市

内 容：「人とのつながりを大切に ～自分がよき手本となるために～」

講師 全日本ろうあ連盟監事 近藤 龍治 氏

出席者：中（連盟）、京野、宮本（札幌）

**(3) 福祉・労働対策部**

①第 36 回全国ろうあ者相談員研修会・第 27 回全国職業安定所手話協力員研修会等  
兼ろうあ者労働問題フォーラム

日 時：2022 年 11 月 18 日（金）13：00～19 日（土）16：00

会 場：アネックス パル法円坂（大阪府大阪市）

参加者：金原福祉・労働対策付理事（詳細は HSK 北聴第 241 号参照）

内 容：「①チーム支援～相談と就労との連携した支援を行なうには～」

「②チーム支援～大阪ワークライフ事業の取り組みについて～」

**(4) 情報・コミュニケーション部**

第 55 回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in いばらき

日 時：2022 年 8 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：オンライン

**(5) 教育・文化対策部**

①ろう教育を考える全国フォーラム

日 時：2022 年 7 月 30 日（土）

会 場：対面とオンラインのハイブリッド方式（埼玉県さいたま市）

内 容：中川尚志氏（九州大学 耳鼻咽喉科教授）による講演、乳幼児支援のパネルディスカッションを行った。

②全国教育担当者会議

日 時：2023 年 1 月 23 日（日）～27 日（金）（北海道は 23 日出席）

会 場：オンライン

内 容：都道府県における乳幼児支援や地域に通う子どもたちの状況等に対する調査を基に意見交換を行った。地域に通うきこえない・きこえにくい児童、生徒の実態は個人情報観点から把握出来ない事がわかった。



## (6) 機関紙部

### ①2022 年全日本ろうあ連盟機関紙担当者研修会 (オンライン)

日 時：2022 年 11 月 23 日 (祝・水)

内 容：2 年に 1 回の機関紙学校とは別に研修・情報交換の場を設けてほしいと全日ろう連評議員会からの要望で実現されたものである。

毎日新聞元記者 蒔田 備憲 (まきた まさのり) 講師より『ろう者取材してきた元記者から機関紙への期待』をテーマに講演。

全国の機関紙担当者とのグループワークで、より良い機関紙の発行につながるように討論した。

## (7) 青年部

### ①第10回東日本幹部研修会in北海道

日 時：2022年12月10日 (土) ~11 (日)

会 場：静岡県・オンライン

参加者：3名

内 容：オンライン+対面のハイブリッド形式で開催。公益社団法人静岡県聴覚障害者協会の山 本秀樹氏による「運動と事業の違いは何？ろう者の未来について考えよう」について講演が行われ、グループに分けて議論した。

### ②第41回全国ろうあ青年部活動者会議inオンライン

日 時：2022 年 7 月 16 日 (土)

会 場：オンライン

テーマ：「ほかの障害を知ろう」

神奈川盲ろう者ゆりの会会長の川島朋亮氏をお招きし、盲ろうについて講演していただいた。ワークショップにてグループに分けて議論しました。

参加者：7 名 (北海道)

### ③第56回全国ろうあ青年研究討論会in鹿児島

日 時：2022 年 11 月 26 日 (土) ~27 日 (日)

会 場：オンライン

参加者：10 名 (北海道からの参加者)

3 年ぶりの対面は叶わなかったが、入門・各分科会 (労働・地域・国際とスポーツ) でオンラインにて久しぶりの議論など参加して知識など学べる機会ができた。

## (8) 女性部

### ①第 52 回全国ろうあ女性集会 in 三重

日 時：2022 年 9 月 30 日 (金) ~10 月 2 日 (日)

会 場：三重県伊勢市

内 容：記念講演「旧優生保護法裁判・大阪女児裁判について」

講師 大矢 暹氏(社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会の理事長)  
参加者：11名(北海道からの参加者)

②第47回全国委員会&第49回女性研修会

日程：2023年1月28日(土)～29日(日)

会場：愛知県刈谷市

内容：講演「ろう宮大工として～私の生き方～」

講師 渡辺健太氏(株式会社 若松社寺 代表取締役)

参加者：5名(北海道からの参加者)

(9) 高齢部

①第34回全国ろうあ高齢者大会 in ちば

付帯行事：第36回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会

第13回全国ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会

日時：2022年10月6日(木)～9日(日)

会場：千葉県千葉市

参加者：431名 北海道からは部長と川口氏と監事の村中氏が参加しました。

②2022年度全国ろうあ高齢部研修会

日時：2023年2月23日(木)～24日(金)

会場：広島県広島市

内容：「聞こえない高齢者たちが持続可能な社会に」

講師：全日本ろうあ連盟理事 吉野 幸代

参加者：56名 北海道からは総務部長の鮎澤氏が参加しました。

---

## Ⅹ法人関係事業

---

### 1. 総会・理事会・委員会・会議等の開催

(1) 社員総会開催

「第10回定時社員総会」

日時：2022年5月29日(日)

会場：道立道民活動センター 大会議室

代議員出席数：107名 (出席数76名)

(2) 理事会

①理事会開催

	月 日	会 場	出席	欠席
第1回	4月23日(土)・24日(日)	道立道民活動センター	19	1
第2回	5月28日(土)	道立道民活動センター大会議室	20	0
第3回	7月29日(土)	網走市エコーセンター大会議室	19	1
第4回	11月19日(土)・20日(日)	道立道民活動センター	18・20	2・0
第5回	2023年2月18日(土)・19日(日)	道立道民活動センター	20	0
臨時	2023年3月13日	書面決議	20	0

※理事：18名 監事：2名

## ②役職構成

役職名	氏 名	担 当	全日ろう 評議員
理事長	山根 昭治	文化・スポーツ基金、4団体懇談会委員 聴覚障がい者情報センター運営委員	理事
副理事長	渋谷 雄幸	情報・コミ部長、4団体懇談会委員 聴覚障がい者情報センター運営委員	○
副理事長	大内 祥一	福祉・労働対策部長、4団体懇談会委員 聴覚障がい者情報センター運営委員	○
常務理事	中 和彦	事務局長、文化・スポーツ基金、4団体懇談会委員 聴覚障がい者情報センター運営委員	○議長
理 事	高嶋 正博	会計部長、聴覚障がい者情報センター運営委員	監事
理 事	橋本 由美	組織部長	○
理 事	福島 太郎	機関紙部長	○
理 事	宮内 博子	教育・文化対策部長、文化・スポーツ基金、 聴覚障がい者情報センター施設長・運営委員	○
理 事	熊倉 晃	スポーツ部長、文化・スポーツ基金	○
理 事	長谷 和明	青年部長	
理 事	佐々木柄理子	女性部長、聴覚障がい者情報センター運営委員	女性部長
理 事	川口 豊	高齢部長	
理 事	金原 浩之	福祉・労働対策部付、聴覚障がい者情報センター運 営委員	○
理 事	佐藤 義典	組織部付	
理 事	野原 伸也	組織部付	
理 事	工藤 努	教育・文化対策部付、文化・スポーツ基金	
理 事	中川 雅敏	情報・コミ部付	
理 事	京野 大樹	福祉・労働対策部付	○
監 事	小山 輝義		○
監 事	越智 誠		○

③理事会出欠表

	第1回		第2回	第3回	第4回		第5回		臨時
	4月 23日	4月 24日	5月 28日	7月 29日	11月 19日	11月 20日	2月 18日	2月 19日	3月 13日
山根 昭治	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
渋谷 雄幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大内 祥一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中 和彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高嶋 正博	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋本 由美	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島 太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮内 博子	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熊倉 晃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長谷 和明	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐々木柄理	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川口 豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金原 浩之	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
佐藤 義典	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○
野原 伸也	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○
中川 雅敏	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工藤 努	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京野 大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小山 輝義	○	○	○	○	○	○	○	○	○
越智 誠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※欠は欠席

(3) 三役会議の開催

1	2022年4月6日(水)	オンライン	2	2022年4月22日(金)	対面
3	2022年5月16日(月)	オンライン	4	2022年6月24日(金)	オンライン
5	2022年7月26日(火)	オンライン	6	2022年9月29日(火)	オンライン
7	2022年10月28日(火)	オンライン	8	2022年11月18日(金)	対面
9	2022年12月20日(月)	オンライン	10	2023年1月17日(火)	オンライン
11	2023年1月31日(火)	オンライン	12	2023年2月17日(金)	対面
13	2023年3月17日(金)	オンライン			

#### (4) 4団体懇談会の開催

##### ①開催日

回	日 時		会場	出席人数
第1回	4月23日(土)	10:00~12:00	道立道民活動センター	12名
第2回	11月19日(土)	13:00~15:00	道立道民活動センター	13名
第3回	2023年2月18日(土)	10:00~12:00	道立道民活動センター	12名

##### ②構成団体

団体名	構成数	構成メンバー
(公社)北海道ろうあ連盟	4名	山根昭治、渋谷雄幸、大内祥一、中和彦
北海道手話サークル連絡協議会	2名	武田啓子、尾形直樹
北海道手話通訳問題研究会	2名	渋谷梯子、板谷こずえ
北海道手話通訳士協会	2名	松井宏幸、山田幸雄

## 2. 人事（採用・異動・退職）報告

### (1) 法人事務局

田中 小百合 2022年 5月 1日 非常勤嘱託再採用  
高嶋 正博 2022年 5月 1日 臨時職員採用  
2023年 3月31日 契約期間満了退職  
橋本 由美 2022年 5月 1日 臨時職員採用  
茂又 宏美 2021年 9月 1日 臨時職員採用（全国ろうあ者体育大会のため）  
2022年10月27日 退職  
三崎 薫 2021年 7月 1日 臨時職員採用  
2023年 3月31日 退職

### (2) 北海道聴覚障がい者情報センター

金原 浩之（施設長） 2022年3月31日 定年退職  
宮内 博子 2022年4月 1日 採用・施設長  
武岡 勇（課長） 2022年5月31日 退職  
伊藤 喜幸 2022年6月 1日 係長→次長昇任  
大出 めぐみ 2022年6月 1日 嘱託→正職員、係長昇任  
永井 千里 2022年6月 1日 臨時→嘱託

### (3) 北海道手話通訳派遣センター

(根室) 服部 志乃 2022年7月1日 臨時職員採用  
(宗谷) 小林 美恵（臨時職員） 2023年3月31日 契約期間満了退職  
(日高) 久保 佳奈（臨時職員） 2023年3月31日 退職（次年度より非常勤採用）